

『未来を育てる育樹祭』が開催されました

第13回「未来を育てる育樹祭」が7月7日(日)に岩泉町の早坂高原を会場に開催されました。今回は、同高原の貴重な観光資源であるカタクリ群生地の生育環境を守るボランティア活動「カタクリ再生大作戦」も同時に開催されました。



この育樹祭は、森の恵みに感謝しながら、後世に豊かな自然を守り伝えるとともに、地域の明るい未来を拓くため、森林林業関係者と漁業関係者がともに手を携え森林を守る活動として行われているものです。

今年は、関係団体や地元小中学生らに加え、盛岡からグルージャ盛岡の選手12名など、総勢約370人が参加しました。

小中学生は、オオヤマザクラ50本の植樹活動を、大人たちはカタクリ群生地や以前植樹を行った箇所の下刈作業に汗を流しま

した。この日は、好天に恵まれ、避暑地のようなさわやかな高原で、心地よい汗をかいていました。



植樹の後、子供たちは、会場周辺に整備されている森林セラピーロードを散策する「龍ちゃんウォーキング」を行い、自然に触れ合っていました。

また、今年は木に触れあう取り組みとして、薪割り体験も行われ、参加者は、慣れない手つきで一生懸命薪を割っていました。

作業終了後は、「きのこ汁」「けんちん汁」「鮭のつみれ汁」が参加者に振舞われました。

